

## 浦上キリシタン流配150年(2018~23)

## ニュースレター



6月18日(月)

## 明治初期・津和野乙女峠の証し人列福祈願ミサ

午後3時から白浜司教司式で大阪管区司教団主催の列福祈願ミサが広島市鞆町のカテドラルで行なわれた。カテドラルは耐震工事のパネル等に囲まれ、座席も通常の3/4位で、又内陣も狭まり少し窮屈な様子。当日早朝の大阪北部地震発生で、予定された前田大司教を含めた各地の司教が参加出来なくなり、急きょ白浜司教司式で行なわれた。参加者は近隣の教会を中心に約300名程の参加だったが、多分地震で来られなかった方も多かったと思われる。聖歌隊席が座席左側中程に配置され、約30名の方々の力強い聖歌がいつもより間近に聞こえ、参列者の心に響いた。説教の中で白浜司教は「殉教者は強い人ではない、自分の弱さを良く分っている人です。だからこそ、神に助けを願ったことがハッキリ表されている。皆生身の人間で弱い、だから捨てるよう言われ、表面的には踏み絵をして、信仰を捨てたように見せかけても、心中では捨てなかった方も沢山いた。私たちは先ず津和野の殉教者が流配者の代表者として、信仰の自由を祈り続ける証し人として、列福運動をこれからも力を合わせて前に進めていきたいと思う」とお話された。



共同祈願の中で私たちは、明治初期の迫害で流配された方々を偲び、信仰の自由の為に苦しむ僕たちの証しとして、津和野の37名の殉教者の一日も早い列福を祈った。



ミサの最後に白浜司教は、「7月の司教会議で、正式に列福申請をしてよいと了解されれば、速やかにローマに書類を持参する予定です。2023年の教区創立百周年迄に列福されればと思います」とバチカンへの列福申請の決意をお話され、私たちの祈りと列福活動への協力を願ってミサを終えた。

## 白浜司教も熱演

## 「朗読劇・津和野の証し人」初演！

朗読劇は列福祈願ミサに先がけ、午後2時からカテドラルで行なわれた。工事中のパネルに絵を投射し、前列の席で朗読者が朗読したが、文字で読んで感じる流配の様子と違い、朗読者の声を通して聞き

投射される絵を見ることで、流配がそこに感じられるように思ったのは気のせいだろうか？

白浜司教は数日前に、長崎弁は是非長崎生まれの司教にと浦上の男児役を頼まれ、熱演された。ユーモラスにミサ説教の中でも触れられ、私たちに標準語で分かり易くと訳して下さった。他にも野中神父や肥塚神父、そして服部神父ほか神父方やシスター方の熱演が光った約40分にわたる朗読劇初演だった。



浦上四番崩れの始まりから説きおこし、幾つかのエピソードを交えての構成は、流配を知らなかった方々にも分かり易く伝えるものとして、広島教区内に限らず西日本の流配関係各地でも広く再演されて欲しい。YouTube「津和野乙女峠証し人朗読劇」もご覧下さい。

## 「朗読劇・津和野の証し人」台本制作記

朗読劇作成呼びかけ人・東広島教会信徒

信徒発見 150 年の 2015 年、東広島教会で長崎の大浦

教会から頂いた台本で、「あぁ、サンタマリアさま」の朗読劇をした。その直後主任司祭のヴィタリ神父から「信徒発見の後に起きた、津和野の殉教者の劇を作りなさい！」と 5 冊の本を渡された。読んでいくうちに、津和野の殉教の様子を始めて知った。…①日本 26 聖人の 17 世紀の事ではなく、明治時代のことだった事、②津和野で殉教した人が、津和野の住民ではなく、長崎の浦上から連れて来られた人々であった事、③村が空っぽになるほどの 3400 人近い大流配だった事、④浦上キリシタンが、信者だけで 250 年間知恵を絞って信仰の種火を守った事、⑤662 人の尊い命が、大日本帝国憲法を書き換えさせた(信仰の自由を加えさせた)事。

ヴィタリ神父の言葉を受け、大阪教区の高山右近列福運動にも刺激され、広島教区の津和野殉教者のことを勉強させて頂くつもりで、「朗読劇を作りたい」と有志が集まった。そして少しずつ試行錯誤しながら台本を組み立ててきた。多くの皆様のご支援ご協力も得ることが出来、去る 6 月 18 日カテドラル(幟町教会)での「明治初期・津和野乙女峠の証し人列福祈願ミサ」での初演に、添画や音声を含めてなんとか間に合わせることが出来た。

きっかけを作って下さったヴィタリ神父、そして私たち有志の活動を「殉教地・巡礼地ネットワーク」の活動として取り上げて下さった肥塚神父に、心から感謝したい。又無知無経験な私達に、資料を送って下さった方々、励まし協力して下さいました方々には、感謝しきれない。

「朗読劇・津和野の証し人」が、今後 5 年間各教会の信徒の声で上演され、宣教と信仰を高める道具となるよう、製作者一同心から願っている。

## 皆様方も「朗読劇」を演じてみませんか！

台本・BGM・映像の提供方法等を現在調整中です。又、「問合先」や費用も含め、決まり次第お知らせします。出来るだけ多くの教会で再演されるよう検討したいと思います。なお実施に当たっては、朗読劇の中に各地の流配の様子も付加すれば、より親しみやすいと思います。ご配慮を宜しくお願いします。

## ▼ 9月30日(日)「流配150年記念講演会と福山市内巡礼」

9時ミサ後／講演会：ふるす古巢 馨神父（長崎純心大学教授）に聞く、浦上四番崩れのお話。  
昼食後、市内4か所の流配所を巡礼の予定。問合先：福山教会 ☎084-923-0614

《 発行：広島教区 殉教地・巡礼地ネットワーク 事務局 》